

第 42 回全国陸運労災防止大会 会長あいさつ

本日ここに、第 42 回全国陸運労災防止大会を開催するに当たり、一言、ごあいさつを申し上げます。

皆様方には、ご多用のところ、全国各地から多数のご参加をいただき、このように盛大に開催することができましたことを、先ずもって、厚く御礼申し上げます。

ご参加の皆様方の労働災害防止に寄せる、並々ならぬ思いに接し、主催者として非常に心強く存ずる次第であります。

また、本大会には、

厚生労働省労働基準局	小野部長
国土交通省近畿運輸局	島崎局長
警察庁近畿管区警察局	菅沼部長
そして地元兵庫県から、	齋藤副知事

のご来臨をいただき、ご祝辞を賜りますことを光栄に存じ、厚く御礼を申し上げます。

また、本日は労働災害の防止に顕著な功績をあげた事業場、団体並びに個人の方々への表彰を行います。皆様方には、これ迄のたゆまぬご努力、ご精進に対し、深く敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

さて、陸運業の労働災害の発生状況について申し上げますと、関係各位の真摯な労働災害防止活動の結果、死傷件数は長期的には減少しておりますが、今なお、14,000 人近くの方々が労働災害に被災し、240 人余の労働者が尊い命を失っています。

このような状況にかんがみ、当協会におきましては、平成 15 年度から平成 19 年度までの「陸運労災防止 5 ヵ年計画」を策定し、労働災害死亡者数が年間 200 人を下回ることを目指すとともに、計画期間中の労働災害総件数を 20% 以上減少させることを目標に掲げ、「経営首脳が先頭に立った安全衛生活動の積極的な推進」、「荷役運搬作業の安全化対策の推進」及び「交通労働災害の防止」を主要対策に、会員事業場の皆様方と一緒に、労働災害防止活動に積極的に取り

組んでおります。

陸運業界は、物流ニーズの多様化が進む中で、燃料価格の高騰や環境問題への対応、物流効率化対策、規制緩和対策等様々な課題が山積し、厳しい経営環境にあります。こうした環境を踏まえつつも、労働災害を防止し、働く人々の安全と健康を確保していくことは、陸運業の発展のために、業界あげて取り組まなければならない最重要課題であります。

私ども陸運労災防止協会も、労働災害の防止を通じて陸運業界の発展に寄与しているところであります。

先ほど述べた「陸運労災防止5ヵ年計画」は、残すところ1年であり
ます。

本大会は、この大切な時期に当たり、目標達成に向けて、総力を
挙げ、気持ちを高め、決意を固める大切な機会であると考えており
ます。

本日までご参加の皆様方におかれましても、これまで以上に充実した
実効ある労働災害防止活動を展開されますようお願い申し上げる次
第であります。

最後に、本大会にご参加の皆様方の益々のご健勝とご活躍、さら
には、陸運業界の発展を心から祈念し、大会開催に大変ご苦勞をい
ただいた兵庫県支部をはじめ、関係者の方々に感謝申し上げ、私の
あいさつといたします。

平成 18 年 11 月 9 日

陸運労災防止協会

会長 岡部 正彦